

確認問題 07

(1) 日本カリキュラム学会が 2001 年にまとめた、カリキュラム編成の原理を 3 つ挙げよ。

・
・
・

(2) 次の「アプロプリエーション」としての学びに関する文章の空欄を埋めよ。

アプロプリエーションとしての学びは、第 1 に、単なる（ ）ではなく、自分の（ ）に合わせた形で取り組まれてゆくということである。その場合、「〇〇さんは△△といましたが、私はそれにつけ足して、□□と考えました」という（ ）による表現になることが多い。これによって、単なる（ ）で終わるのではなく、他者の考えをめぐって自分の（ ）や意見の（ ）が行われることになる。第 2 にそれと関わって、他者の言葉を（ ）に取り入れるのではなくて、時として（ ）や反論の（ ）として、「自己の言葉と（ ）する言葉」として取り込まれることもある。

(3) 斎藤喜博が、授業は「3 つの緊張関係の中に成立する」と述べた。この趣旨について、簡潔に説明せよ。

(4) 「教材で教えるという主張」「教科内容論の見直し」「社会文化的アプローチ」のうち 1 つについて簡潔に説明せよ。

**) 確認問題 02 を自己評価し、
気づいたこと、感じたことをのべよ

■ 5 段階自己評価（ ）
■